



トップメッセージ

TOP MESSAGE

NTTグループは、2023年に新たな中期経営戦略（New value creation & Sustainability 2027 powered by IOWN）を策定しました。この中期経営戦略の柱の1つとして「新たな価値の創造とグローバルサステナブル社会を支えるNTTへ」を掲げ、「IOWNによる新たな価値創造」、「循環型社会の実現」に向けて、グリーンソリューションの実現、循環型ビジネスの創造、ネット・ゼロ・エミッション※に向けた取り組みなどを進めてまいります。

私たちNTT研究所では、IOWN(Innovative Optical and Wireless Network)構想の推進や革新的な環境エネルギー技術の研究開発により「NTT Green Innovation toward 2040」の実現に貢献する役割を担っています。グローバルなパートナーとともに、持続可能な社会の実現に向けてイノベーションをつくりあげていきます。

※人為的な二酸化炭素の排出と除去のバランスが取れた状態



研究開発による持続可能な社会への貢献

NTTグループは、IOWNの普及・拡大や新たなサービスの提供、再生可能エネルギーの開発強化・導入拡大などにより、自らのカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを社会へ拡大し、日本政府の「2050年カーボンニュートラル宣言」の実現に貢献します。

NTT研究所ではテクノロジーが環境へ溶け込むスマートな世界を実現するため、世界を変革する技術の研究開発を進めています。本レポートの特集1「環境に貢献する研究開発」では、開発成果による社会の低炭素化に貢献する成果事例を、特集2「環境負荷低減と社会貢献を支える研究開発」では、低炭素化のほか、ESGに関連した社会課題の解決に貢献する成果事例を紹介しています。

研究所における環境保護への取り組み

NTT研究所では、1999年から順次取得したISO14001(環境マネジメント)の下、環境保護に積極的に取り組み、NTT研究所で働くすべての人に環境活動が浸透・定着しています。この活動の中で、環境負荷を低減する研究開発、減災対策に貢献する研究開発、および働き方に合わせたエネルギー・資源などの効率的な利用、廃棄物リサイクルの推進、グリーン製品購入の推進、化学物質の適正管理などを推進しています。

私たちは、持続可能な社会の実現に向けて引き続き環境負荷低減に努め、地域貢献活動に取り組むとともに、これらを通じて生物多様性の保全を推進していきます。

本環境レポートをご一読いただき、忌憚のないご意見ならびにご支援をいただきますようお願い申し上げます。



研究開発担当役員
IOWN総合イノベーションセンタ
センタ長 塚野 英博



研究開発担当役員
サービスイノベーション総合研究所
所長 大野 友義



研究開発担当役員
情報ネットワーク総合研究所
所長 辻 ゆかり



研究開発担当役員
先端技術総合研究所
所長 岡田 顕